

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和2年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	(経済部)農政課・グリーンセンター／農業委員会事務局

●施策の基本方針(目標)

歴史と伝統を誇る花き・植木や野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みを作ることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	45.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	47.3	48.4	46.1	47.4	49.9		
指標②	名称	市内総生産額(農業)			単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(令和2年度)		現状値	1,306(平成24年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	1,392(平成26年)	579(平成27年度)	579(平成27年度)	1,516(平成29年度)	1,373(平成30年度)		
指標③	名称	市民農園区画数			単位	区画	指標の種別	成果
	目標値	572(令和2年度)		現状値	492(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	579	551	724	741	795		
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業額	事業費	347,732	422,109	387,619	400,516	757,420
	概算人件費	169,094	193,674	161,239	160,370	204,452
	総事業費	516,826	615,783	548,858	560,886	961,872

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 48	単位施策② 52	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			50.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
① 都市農業の振興									
34100101	川口緑化センター 指定管理者管理運営費	経済部 農政課	125,336 6,560	123,513 1,560	131,645 2,054	138,012 1,580	131,542 1,975	48	現状維持 で実施
34100401	川口農業塾開催事業	経済部 農政課	1,559 1,886	1,238 2,184	1,352 3,160	1,400 2,370	610 3,950	26	現状維持 で実施
34100451	開園50周年関連事業 (平成29年度をもって完了)	経済部 グリーンセンター	— —	78,403 33,618	— —	— —	— —	—	—
34100601	農地基本台帳管理費	農業委員会 事務局	1,003 1,230	1,054 1,638	980 3,792	1,463 3,555	1,676 3,555	52	現状維持 で実施
34100701	農政関係広報事業	農業委員会 事務局	69 1,148	76 1,326	99 1,343	99 1,738	259 1,738	50	現状維持 で実施
34100802	農政審議会経費	経済部 農政課	89 1,230	325 3,120	692 2,370	396 2,607	340 2,212	47	現状維持 で実施
34100901	農業経営改善事業	経済部 農政課	0 3,690	34 1,950	9 1,975	0 1,975	40 2,370	50	現状維持 で実施
34101101	園芸振興事業	経済部 農政課	4,859 2,460	5,305 3,120	5,308 1,975	5,476 1,580	145 1,975	53	現状維持 で実施
34101202	農業改良普及事業	経済部 農政課	5,186 3,280	5,074 5,850	5,292 5,925	3,166 5,530	821 6,715	53	現状維持 で実施
34101301	植物取引センター 指定管理者管理運営費	経済部 農政課	17,895 2,132	17,780 702	19,315 1,501	19,089 1,343	19,871 1,975	46	現状維持 で実施
34101401	特産園芸品展示即売会開催事業 (平成28年度をもって廃止)	経済部 農政課	2,317 1,640	— —	— —	— —	— —	—	—
34101501	第8回世界盆栽大会出展事業 (平成29年度をもって完了)	経済部 農政課	1,760 2,870	2,095 1,950	— —	— —	— —	—	—
34101601	農作物生産等実態調査 事業	農業委員会 事務局	435 1,066	420 858	398 1,580	382 1,738	265 1,738	46	現状維持 で実施
34101702	農業施設設置助成事業	経済部 農政課	0 2,050	0 1,170	0 1,975	0 1,580	0 1,185	33	現状維持 で実施
34101801	農業金融対策事業	経済部 農政課	277 2,460	235 1,170	122 1,580	13 1,185	0 1,580	40	現状維持 で実施
34101901	グリーンセンター 施設運営費	経済部 グリーンセンター	22,453 1,722	23,583 1,638	24,590 1,659	25,775 1,659	27,774 1,659	54	現状維持 で実施
34102001	イベント広報事業	経済部 グリーンセンター	15,145 32,800	15,563 31,200	16,886 31,600	15,517 31,600	2,009 31,600	54	効率化して 実施
34102101	わんぱく広場遊園事業	経済部 グリーンセンター	37,989 9,850	37,935 11,700	61,142 11,850	64,726 11,850	40,397 11,850	44	現状維持 で実施
34102201	植物園花木展示事業	経済部 グリーンセンター	78,126 41,000	75,770 39,000	83,537 39,500	85,144 39,500	72,275 39,500	50	現状維持 で実施
34102301	花き園芸振興事業	経済部 グリーンセンター	20,326 41,000	23,408 39,000	26,712 39,500	23,730 39,500	22,579 39,500	50	現状維持 で実施
34102503	グリーンセンター 再整備事業	経済部 グリーンセンター	— —	— —	— —	— —	432,421 39,500	60	拡充して実 施

単位施策名		② 都市農地の保全							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34200101	農業体験事業	経済部 農政課	54	34	54	61	52	50	現状維持 で実施
			2,050	2,730	1,580	1,185	1,185		
34200201	鳥獣保護緑地保全対策事業 (令和元年度から自然保護対策室、鳥獣 捕獲等許可関連事業に統合)	経済部 農政課	60	60	60	—	—	—	—
			1,230	1,170	790	—	—		
34200302	地域農業活性化事業	経済部 農政課	12,794	10,204	9,426	16,067	4,344	53	現状維持 で実施
			5,740	7,020	5,530	8,295	8,690		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100101	事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先 258-1110(10270)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口緑化センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	川口緑化センターの利用者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。	指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。 ・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等) ・川口緑化センターの利用許可に関する業務 ・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務	
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、園芸相談及び展示会等の実施 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。	第24回朝顔・ほおずき市	1 回
		第18回緑の学会・ふれあい講演会	1 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	03細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	131,645	138,012	131,542	152,551	152,029		
決算額(B)=(C)+(D)	131,645	138,012	131,542				
財源※	特定財源(C)	7,327	6,927	7,966	6,649		
	一般財源(D)	124,318	131,085	123,576	145,902		
概算人件費(E)	2,054	1,580	1,975	1,975	1,975		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.26 0.00	0.20 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	133,699	139,592	133,517	154,526	154,004		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでいるため、個別施設計画の内容を踏まえた中長期修繕計画及び市営植物取引センターも含めた一体的な周辺整備計画を検討していく必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100401	事業名称	川口農業塾開催事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10270)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年度 ~ 令和 - 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。	令和元年で事業開始から10年が経過し、川口農業塾の今後について検討を行うこととし、令和2年から事業を一旦休止している。農業塾研修用農地の維持管理は引き続き行っている。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・草刈り等、研修用農地の維持管理 ・農業の担い手育成に係る新施策の検討 ・研修用農地活用案の検討	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	研修用農地を適切に管理し、農地活用案及び担い手育成に係る新施策の検討を進めた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口農業塾修了生数			指標・目標値の説明(算定式)	受講生の100%修了を目指す				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	13 達成		16 未達成		—		—		—
指標②	名称	見沼たんぼ就農予備校への入学者数			指標・目標値の説明(算定式)	就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	1 未達成		5 未達成		—		—		—

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	02細々目	川口農業塾開催事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	1,387	1,766		703		597		4,017		
決算額(B)=(C)+(D)	1,352	1,400		610		—		—		
財源※	特定財源(C)	592		0		0		—		
	一般財源(D)	760		1,400		610		597		
概算人件費(E)	3,160		2,370		3,950		1,738		1,738	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,512		3,770		4,560		2,335		5,755	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	5 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	不明	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	3 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
26 /60	川口農業塾の目的である「農業経営の担い手となるような人材の育成及び確保」の代替案及び川口農業塾事業用地の利活用案を検討していく必要がある。また、川口農業塾事業用地の維持管理を引き続き行う。	3年度	現状維持で実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100601	事業名称	農地基本台帳管理費	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農地法第52条に備え、整備するもの

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等のうち農地所有者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地関係事務及び証明書発行事務の効率化を図る。	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動・更新処理を行う。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動の更新処理を行った。	項目	実績 単位
		農地基本台帳整備に係る調査の調査表配布	1,152 件
		市内農地面積	417.80 ha
		市内農地筆数	12,504 筆
事業の成果【定性的評価】	農地基本台帳システムを最新データに更新し、農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務を適正に行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	02細々目	農地基本台帳管理費	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,012	1,583	1,996	2,014	2,014			
決算額(B)=(C)+(D)	980	1,463	1,676					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	980	1,463	1,676	2,014			
概算人件費(E)	3,792	3,555	3,555	3,555	3,555			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.48	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,772	5,018	5,231	5,569	5,569			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務の執行にあたり、当該システムの情報は必要であるため、引き続き、情報の更新及び整理を確実に行う必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100701	事業名称	農政関係広報事業	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 51 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にた“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内の農政及び農地に関する情報について、各農家及び関係機関に提供するとともに、市民の農の理解を促進する。	農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	令和2年度は2回発行した。9月号は新たな農業委員及び農地利用最適化推進委員の紹介、優良認定農産物及び推奨認定農産物と生産者の紹介記事を掲載し、3月号には、生産緑地に関するお知らせや新たな農産物導入に関する補助金の記事を掲載し、農家等に情報提供した。	項目	実績	単位
		「川口の農業だより」第92号(2年9月号)	2,000	部
		「川口の農業だより」第93号(3年3月号)	2,000	部
事業の成果【定性的評価】	各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	04細々目	農政関係広報事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	130	132		304		207	207			
決算額(B)=(C)+(D)	99	99		259						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	99		99		259	207			
概算人件費(E)	1,343		1,738		1,738		1,738		1,738	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,442		1,837		1,997		1,945		1,945	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	各農家に必要な情報提供の手段として必要であり、市民の農の理解促進のため、今後の掲載内容の充実を図る必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100802	事業名称	農政審議会経費			事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10270)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。	農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農政審議会の開催	項目	実績
		審議会開催回数	3 回
事業の成果【定性的評価】	川口農業ブランド制度に係る第三者評価組織として、制度運用及びブランド申請農産物に対し意見聴取を行い、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興施策を展開した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	002細目	01細々目	農政審議会経費					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
予算額(A)	931	907		649		565		728				
決算額(B)=(C)+(D)	692	396		340								
財源※	特定財源(C)	0		0		0						
	一般財源(D)	692		340		565						
概算人件費(E)	2,370		2,607		2,212		5,925		5,925			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.33	0.00	0.28	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,062		3,003		2,552		6,490		6,653			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	6 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
47 /60	川口農業ブランド制度をはじめとした農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図るため、引き続き農政審議会において必要な調査及び審査を行う。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34100901	事業名称	農業経営改善事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定農業者、認定新規就農者(農業経営基盤強化促進法に基づき、市等が農業経営改善計画又は青年等就農計画を認定した農業者)及びその他の農業者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業経営基盤強化促進法に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成及び支援する。	埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画等の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・農業経営改善計画の認定 ・農業経営改善研修会の開催	項目	実績 単位
		川口市が認定した認定農業者数(再認定を含む)	11 経営体
事業の成果【定性的評価】	自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業経営改善研修会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	認定農業者数の3分の1				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	23 達成	未実施	—	8 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	003細目	01細々目	農業経営改善事業				
年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	72	71			77		71	73			
決算額(B)=(C)+(D)	9	0			40						
財源※	特定財源(C)	0	0			0		0	0		
	一般財源(D)	9	0			40		71	71		
概算人件費(E)	1,975	1,975			2,370		2,370	2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,984	1,975			2,410		2,441	2,443			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	令和2年4月からの制度改正により、営農地によって認定農業者の申請先が細分化されたため、県等の認定庁と連携をとりながら、円滑に事務の執行ができるようにする必要がある。特に、更新を迎える認定農業者に対しては、制度周知を含め、計画的に再認定に係る事務を進める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101101	事業名称	園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	産地間競争の激化による価格競争や生産・流通機構の変化等に伴う厳しい農業経営環境に対応するため、農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援 並木元町公園花植木市開催事業に対する支援 展示・即売会参加事業に対する支援 展覧会等参加事業に対する支援 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して、補助金を交付した。	項目	実績 単位
		交付件数	4 件
事業の成果【定性的評価】	植木を中心とする花きの生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図るとともに、特産園芸の普及宣伝に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮(令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	20,000		20,000	20,000	17,500				
	実績値・達成状況	19,743	未達成	17,556	未達成	開催中止	—			
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮(令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	4,000		4,000	4,000	7,300				
	実績値・達成状況	8,769	達成	7,346	達成	開催中止	—			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	02細々目	園芸振興事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	5,400	5,700		2,717		5,700	5,700					
決算額(B)=(C)+(D)	5,308	5,476		145								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	5,308	5,476		145		5,700	5,700				
概算人件費(E)	1,975	1,580		1,975		3,295	3,295					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.20	0.00	0.25	0.00	0.30	0.25	0.30	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,283	7,056		2,120		8,995	8,995					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101202	事業名称	農業改良普及事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業関係団体	市民等、農業者及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展に伴う生産環境の変化や急速に発達した情報化時代に対応するため、農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市花の文化展開催事業に対する支援 特産農業推奨事業に対する支援 農業後継者育成事業に対する支援 農産物産地化モデル事業に対する支援 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業者及び農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		交付件数	4 件
事業の成果【定性的評価】	農業生産・経営技術の向上及び都市農業経営の確立・発展に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮(令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)			
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	3,353	達成	開催中止	—	開催中止	—		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	03細々目	農業改良普及事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	5,662	5,800		5,600		5,600		6,100		
決算額(B)=(C)+(D)	5,292	3,166		821						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,292		3,166		821		5,600		
概算人件費(E)	5,925		5,530		6,715		6,455		6,455	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.70	0.00	0.85	0.00	0.70	0.25
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,217		8,696		7,536		12,055		12,555	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	3年度	現状維持で実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101301	事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10270)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市営植物取引センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	農業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。	指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。 ・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可 ・施設の維持管理及び軽易な修繕	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	05細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	19,315	19,089		19,871		22,025		22,506		
決算額(B)=(C)+(D)	19,315	19,089		19,871						
財源※	特定財源(C)	5,620	5,846		6,961		7,086			
	一般財源(D)	13,695	13,243		12,910		14,939			
概算人件費(E)	1,501	1,343		1,975		1,580		1,580		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.19 0.00	0.17 0.00		0.25 0.00		0.20 0.00		0.20 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,816	20,432		21,846		23,605		24,086		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	施設の老朽化が進んでいるため、個別施設計画の内容を踏まえた中長期修繕計画及び川口緑化センターも含めた一体的な周辺整備計画を検討していく必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101601	事業名称	農作物生産等実態調査事業	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内に住所を有する農業者	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。	農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものを基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料としても活用する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	令和2年8月に行われた農地基本台帳整備に係る調査に併せ、令和元年度分の農作物生産等実態調査表を各農家に郵送により配付し、回収した調査表を基に集計表を作成した。	項目	実績	単位
		農作物生産等実態調査 調査表配付	1,152	件
		農作物生産等実態調査 調査表回収	935	件
事業の成果【定性的評価】	市内営農者の農業生産の実態について調査を実施し、集計することにより、農業行政の基礎資料とした。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	01細々目	農作物生産等実態調査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	495	456		436		377		377		
決算額(B)=(C)+(D)	398	382		265						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	398		382		265		377		
概算人件費(E)	1,580		1,738		1,738		1,738		1,738	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,978		2,120		2,003		2,115		2,115	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	例年は調査員が各農家へ対面配付していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、郵送による配付及び返送による回収方式に変更した。そのため回収率が減少したと思われる。来年度以降も郵送による配付・回収は継続されるとと思われるため、回収率及び回答率向上のため周知方法を検討する必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101702	事業名称	農業施設設置助成事業		事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱、農業施設設置助成事業助成金交付基準

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、農業施設の設置によって、経営の改善及び近代化の推進など集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業近代化資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	申請がなかったため未実施。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	農業者等の経済的な負担を軽減し、経営の改善及び近代化の推進等に資するためHP等で制度の周知を図ったが、申請がなかった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	04細々目	農業施設設置助成事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	750	750		300		750		750		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		0		0		0		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		0		750		750		
概算人件費(E)	1,975	1,580		1,185		1,975		1,975		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,975	1,580		1,185		2,725		2,725		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
33 /60	設備投資により農業経営の改善及び近代化を図ろうとする農業者の負担軽減のために必要な事業であるが、平成21年度以降申請がないため、周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101801	事業名称	農業金融対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業近代化資金融通法、埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要領、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業者及び農業法人等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。	農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	該当者がなかったため未実施。	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	農業者等の経済的な負担を軽減し、経営の安定化に資するためHP等で制度の周知を図ったが、該当者がいなかった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	05細々目	農業金融対策事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
予算額(A)	189	138		40		40		43				
決算額(B)=(C)+(D)	122	13		0		0		0				
財源※	特定財源(C)	46		0		0		0				
	一般財源(D)	76		13		0		40				
概算人件費(E)	1,580		1,185		1,580		2,370		2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.15	0.00	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,702		1,198		1,580		2,410		2,413			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	不適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
40 /60	農業者の高齢化等により設備投資が抑制されているが、今後はニーズを把握し、事業活用・必要性を含め検討する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34101901	事業名称	グリーンセンター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること。	入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託、自動券売機の借上業務の実施、グリーンセンターの運営に必要な消耗品等の購入。	項目	実績	単位
		令和2年度入園者数	317,175	人
事業の成果【定性的評価】	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	01細々目	グリーンセンター施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	24,606	25,955		27,904		27,590		27,590		
決算額(B)=(C)+(D)	24,590	25,775		27,774						
財源※	特定財源(C)	8,096	7,223		13,340		13,402			
	一般財源(D)	16,494	18,552		14,434		14,188			
概算人件費(E)	1,659	1,659		1,659		1,659		1,659		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,249	27,434		29,433		29,249		29,249		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	売札業務委託に係る人件費が年々上昇しており、今後、予算の削減に伴う人員削減等によるサービス、安全性の低下が懸念される。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34102001	事業名称	イベント広報事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。		<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催 ・園芸教室 ・林間教室 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	●イベント開催 菊花展・洋蘭展・椿展等 ●園芸教室 花の寄せ植え・柑橘類の育て方・盆栽の寄せ植え等 ●林間教室 カブト虫を育てよう		項目	実績	単位
			イベント開催		5 回
			園芸教室		8 回
		林間教室		3 回	
事業の成果【定性的評価】	入園者に憩いの場や家族等とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。園芸・林間教室では、多種多様な植物等への興味や関心を促し技術や知識を広めることができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	02細々目	イベント広報事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	16,943	16,559		2,091		2,091	2,091			
決算額(B)=(C)+(D)	16,886	15,517		2,009						
財源※	特定財源(C)	6,314	7,596		1,794		1,802			
	一般財源(D)	10,572	7,921		215		289			
概算人件費(E)	31,600	31,600		31,600		31,600	31,600			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	48,486	47,117		33,609		33,691	33,691			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	課題:子どもを含めた若者世代が植物に興味や関心を持つことができ、また、コロナ禍においても安全に実施できるイベントを開催していく。方策:植物を楽しく見せ学ぶことができ、新しい生活様式に配慮したイベントの開催。市民(入園者)ニーズを的確に捉えたイベントの検討。	3年度	効率化して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34102101	事業名称	わんぱく広場遊園事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 60 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う	ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	わんぱく広場の施設修繕 ミニ鉄道の保守運行管理	項目	実績 単位
		ミニ鉄道利用者数	144,052 人
事業の成果【定性的評価】	安全・安心な施設維持および管理運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	03細々目	わんぱく広場遊園事業
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	61,554	65,263	40,914	42,092	64,306		
決算額(B)=(C)+(D)	61,142	64,726	40,397				
財源※	特定財源(C)	29,889	26,115	28,084	35,371		
	一般財源(D)	31,253	38,611	12,313	6,721		
概算人件費(E)	11,850	11,850	11,850	11,850	11,850		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	72,992	76,576	52,247	53,942	76,156		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	施設等の老朽化が顕著であり、小規模修繕等では対応できないことが多くなってきている。人気施設であるミニ鉄道は、今後、大規模修繕が必要になることから、活性化基本計画を受け、整備・改修時期を検討し、適正な更新・修繕を実施していく。	3年度 現状維持で実施 4年度 拡充して実施 5年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34102201	事業名称	植物園花木展示事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 42 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。	花木等の栽培管理及び企画展示 鳥類の飼育 園内インフラ及び施設等の維持管理 園芸、造園及び緑化等の相談及び啓発 委託業務の指導、監督	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	園内の樹木・芝生・花壇等の維持管理。 鳥類の飼育等。園芸相談やガイドツアーの実施。 樹木管理委託等の業務設計・指導・監督等。 園内施設等の修繕対応。	項目	実績 単位
		園芸相談件数	262 件
		ガイドツアー参加者数	53 人
事業の成果【定性的評価】	入園者へ四季折々季節ごとの植物展示や適切な植栽管理等を行うことができ、緑化意識の高揚及び緑化知識の向上が図れた。また、施設の安全性向上のため、不具合箇所等を早期に発見し、修繕等の対応を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	04細々目	植物園花木展示事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	84,399	85,907	73,128	73,257	88,054			
決算額(B)=(C)+(D)	83,537	85,144	72,275					
財源※	特定財源(C)	21,596	26,845	16,263	15,733			
	一般財源(D)	61,941	58,299	56,012	57,524			
概算人件費(E)	39,500	39,500	39,500	39,500	39,500			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	123,037	124,644	111,775	112,757	127,554			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	入園者に対して、更なる緑化啓発の向上を図るため、時代に合った展示方法等を行う必要がある。また、施設の維持管理については、今後の再整備を考慮し、優先順位をつけて対応する必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 効率化して実施 5年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34102301	事業名称	花き園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左													
事業の概要	事業の目的(何のために) 農業の振興並びに入園者、市民の緑化意識の高揚を図る	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 園芸植物の育成、展示及び品種保存 園芸振興施設、大温室、観賞温室の維持管理 園芸技術研修・実習、体験学習の受入れ、指導 委託業務の指導、監督													
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 熱帯植物、ラン類、椿、サクラソウ等園芸植物の育成、展示 寄託植物受入れ育成、保存、盆栽貸出し 園芸植物の展示会実施、作業ボランティア受入れ、指導 温室、園芸振興施設の維持管理及び修繕 盆栽、園芸振興施設、植物管理委託等の設計、指導、監督	主な実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園芸植物の展示会</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>作業ボランティア受入れ指導</td> <td>12</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>寄託植物新規受入れ</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績	単位	園芸植物の展示会	2	回	作業ボランティア受入れ指導	12	回	寄託植物新規受入れ	4	件
項目	実績	単位													
園芸植物の展示会	2	回													
作業ボランティア受入れ指導	12	回													
寄託植物新規受入れ	4	件													
事業の成果 【定性的評価】	園芸植物を適切に管理し、展示できたことにより、入園者へ園芸植物の知識の普及、啓発、緑化意識の向上を図ることができた。また、作業ボランティアの受入れ指導の実施により園芸植物栽培の知識の普及と技術の向上を図ることができた。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	05細々目	花き園芸振興事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	26,894	24,568		24,299		23,443		24,514		
決算額(B)=(C)+(D)	26,712	23,730		22,579						
財源※	特定財源(C)	5,432	6,743		9,679		10,093			
	一般財源(D)	21,280	16,987		12,900		13,350			
概算人件費(E)	39,500	39,500		39,500		39,500		39,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	66,212	63,230		62,079		62,943		64,014		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	入園者に対して、植物園ならではの資源、知識、技術を活用し、展示や催事を継続的に行う必要がある。今後、改修後の利活用促進のためにも、植物の魅力発信について更に内容を充実させ、継続的に行う必要がある。また、維持管理及び修繕については、再整備の進捗状況を見極め、実施する必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 効率化して実施 5年度 効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34102503	事業名称	グリーンセンター再整備事業			事業区分	主要な事業 その他
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 11 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	施設の老朽化や市民の利用ニーズ、社会状況の変化等に対応した施設の再編を図る。	活性化基本計画に基づく園内の施設再編やインフラの再整備。防災拠点の機能強化となるオープンスペースの拡充や防災関連施設の導入等。収益や集客の向上を目的とした管理運営形態の構築。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	第1期に係る基本・実施・撤去設計や土質調査、現況測量等の委託業務	項目	実績
	第1期となる撤去工、基盤整備工、植栽工、施設整備工等		単位
事業の成果【定性的評価】	第1期については、園内でも運営に支障が出ているエリアであり、早期に安全性の確保が必要なため、工期短縮を図りつつ、効率的で合理的な設計・施工の実施を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	002細目	03細々目	グリーンセンター再整備事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	—	—	882,864	811,389	1,024,850			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	432,421					
財源※	特定財源(C)	—	—	308,000	377,320			
	一般財源(D)	—	—	124,421	434,069			
概算人件費(E)	—	—	39,500	39,500	39,500			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	471,921	850,889	1,064,350			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	グリーンセンターの再整備については、計画上の概算事業費として100~150億円規模の予算が必要となるため、国土交通省以外の補助金メニューの活用や財政状況による事業工程の見直し及び事業費の平準化等が必要となる。	3年度 拡充して実施 4年度 拡充して実施 5年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34200101	事業名称	農業体験事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の農への理解を促進するため、農業の初心者等で家庭菜園を楽しみたい方を対象に野菜づくりの知識とコツを学ぶ講座を開催する。	・家庭菜園講習会の開催	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	家庭菜園の基礎について学ぶ講習会を開催	項目	実績 単位
		家庭菜園講習会参加者数	30 人
事業の成果【定性的評価】	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、農ある暮らしの促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	004細目	01細々目	農業体験事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度	
予算額(A)	69	70		67		72	164	
決算額(B)=(C)+(D)	54	61		52				
財源※	特定財源(C)	28	27		30		30	
	一般財源(D)	26	34		22		42	
概算人件費(E)	1,580	1,185		1,185		1,185	1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,634	1,246		1,237		1,257	1,349	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	市民の都市農業への理解促進と農ある暮らしを推進するため、参加者のニーズにあった講義内容及び開催場所を検討する。	3年度 現状維持で実施 4年度 拡充して実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	34200302	事業名称	地域農業活性化事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体等	市民等及び農業関係団体等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援 農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援 農業協同組合が実施する市民農園の開設及び運営管理に対する支援 農業関係団体が行うブランド化事業に対する支援 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体等が実施する事業に対して、補助金を交付した。	項目	実績 単位
		交付件数	6 件
事業の成果【定性的評価】	地場産業である緑化産業の活性化を図るとともに、特産農産物の普及及び販売促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前回実績値と同程度			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	23,300	24,200	22,400	22,400				
	実績値・達成状況	24,205 達成	22,441 未達成	開催中止	—				
指標②	名称	市民農園区画数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画前期基本計画目標指標(令和2年度まで) 第5次川口市総合計画後期基本計画目標指標(令和3年度から)			
	単位	区画	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	572	572	572	951	951			
	実績値・達成状況	724 達成	741 達成	795 達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	03細々目	地域農業活性化事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	10,700	18,600		4,693		13,500	15,100					
決算額(B)=(C)+(D)	9,426	16,067		4,344								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	9,426	16,067		4,344		13,500					
概算人件費(E)	5,530	8,295		8,690		8,220	8,220					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	1.05	0.00	1.10	0.00	0.90	0.30	0.90	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,956		24,362		13,034		21,720		23,320			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	ニーズに合った事業内容を検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	3年度	現状維持で実施
		4年度	拡充して実施
		5年度	現状維持で実施